

2022 年 4 月 28 日

報道関係各社 御中

災害時要配慮者の外国人を支える

災害時通訳・翻訳ボランティアの確保等に係る連携協定を締結

桃山学院大学・公益財団法人大阪府国際交流財団・大阪府

【本件ポイント】

- ◎南海トラフ巨大地震の発生率（40 年以内）が 90%程度に引き上げられました（政府の地震調査委員会）。
- ◎外国人への災害情報に対する聞き取り調査では、情報の言語について不安があると回答した外国人は全体の 78.6%でした。（毎日新聞社／地方版）
- ◎桃山学院大学学長（中野 瑞彦／なかの みつひこ）、公益財団法人大阪府国際交流財団（OFIX）理事長（吉川 秀隆／よしかわ ひでたか）、大阪府知事（吉村 洋文／よしむら ひろふみ）は、災害時通訳・翻訳ボランティアの確保等に向け、4 月 28 日付で連携協定を締結しました。
- ◎協定に基づき、桃山学院大学に在籍する 200 名以上の外国人留学生を対象に、OFIX が実施する災害時通訳・翻訳ボランティア登録と研修を実施し、災害時の言語支援を担います。
- ◎桃山学院大学学長や担当者にインタビューが可能です。



本学留学生の様子
（イメージ）



本学留学生の様子
（イメージ）

詳細

政府の地震調査委員会（委員長・平田直東京大名誉教授）は、2022 年 1 月 13 日、南海トラフ巨大地震の 40 年以内の発生率を「90%程度」と発表しました。前年に発表された発生確率「80～90%」から引き上げられた形となります。日本に在住している外国人のなかには日本語が不自由であったり、日本の生活環境に不案内であったり、災害のことを知らなかったりする方も少なくなく、「災害時要配慮者」と位置づけられています。2018 年 6 月 18 日に震度 6 弱を観測した大阪府北部地震では、対応に戸惑う外国人観光客が多くみられ、災害情報をどう伝達するかという課題が浮き彫りになりました。

この度、桃山学院大学学長（中野 瑞彦／なかの みつひこ）、公益財団法人大阪府国際交流財団（OFIX）理事長（吉川 秀隆／よしかわ ひでたか）、大阪府知事（吉村 洋文／よしむら ひろふみ）は、災害時通訳・翻訳ボランティアの確保等に向け、4 月 28 日付で災害時通訳・翻訳ボランティアの確保等に係る連携協定を締結しました。この

協定は、災害時の外国人支援を充実させるという大阪府の方針を受け、桃山学院大学に在籍する 200 名を超える外国人留学生を対象に OFIX の主な活動のひとつである災害時通訳・翻訳のボランティア登録と研修の実施を進め、災害時の言語支援を担うものになります。支援活動拠点は災害時に大阪府と OFIX が設置する災害時多言語支援センターや自宅（リモート）を想定しています。

桃山学院大学は「地域で、世界で、人を支える」を教育ビジョンとして掲げており、今般の協定に基づくボランティア登録および研修を経て、本学に在籍する外国人留学生が地域共生社会の担い手として成長することを期待しています。

以 上

【本件に関する問合せ】 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1 学校法人桃山学院 経営企画課 広報室
TEL 0725-92-7026 FAX 0725-54-3203 /E-mail koho09@andrew.ac.jp

※本リリースは、学校法人桃山学院経営企画課広報室が作成しています。内容等に関するご意見やご助言等、お待ちしております。